

費増税を含む社会保障と税の一体改革を巡る協議に野党が応じる場合、民主党が掲げる最低保障年金の創設を柱とした新年金制度案を提示する意向を示した。

新年金制度案について「どこかできちんと出して今のままとどちらがいいか、国民的に議論して

# ICTにフォースを!

Your ICT Force **UNIADDEX**

「年金もらっ」と説明。「年金制度の抜本改革にはさらなる増税が必要になる」と語り、15年10月に10%に引き上げる消費税率のさらなる引き上げの可能性に触れた。

自民党の谷垣禎一総裁は22日の党大会で、一体改革に関して「今問われるべきことは『自民党はなぜ協力しないのか』ではなく『民主党は信を問う直せ』ということだ」と述べ、早期の衆院解散・総選挙を求めた。

## 春秋

「臨」にはものごとに向き合うという意味がある。学びに、自分に、そして震災がもたらしたものに、真正面から向き合える子どもに育ってほしい。そういう願いを込めて「臨学舎」と名づけられた勉強の場が、きょう開校式を迎える。

▼場所は岩手県大槌町。東日本大震災で大きな被害を受けた三陸沿岸の町だ。中学3年生の希望者を対象に、補講や個別指導を行う。東京の特定非営利活動法人（NPO法人）が提案、町の教育委員会などと協力し運営まで責任を持つ。先生を務めるのは地元の塾講師やボランティア学生。集会所や寺が教室になる。

▼冬も本番を迎え受験の季節に入った。勉強の追い込みは風邪の心配と、ふつうの家でもピリピリした空気に包まれる。被災地の子どもの学習環境は一層厳しい。狭い仮設住宅で机の置き場所に苦労したり、通い慣れた塾が消えたりと、不利は免れない。仲間が集う臨学舎のような場所は、励みにも救いにもなる。

▼塾代は無料。といっても税金による運営ではない。企業や個人の寄付で費用は賄う。米国の金融機関も「日本のために何かしたい」と資金提供を申し出たぞうだ。経営者から市井の人々まで、多くの大人が厳しさの中で頑張る子どもたちを支える。逆境をはねのけ夢をつかむよう、願わずにはられない。(12・1・23)



若林 辰雄氏（わかばやし・たつお）

77年（昭52年）一橋大法律卒、三菱信託銀行（現三菱UFJ信託銀行）入行。08年常務、09年専務。広島県出身。